

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人文学部	国際学科	夜・通信	40	0	40	80	13	
	日本文学文化学科	夜・通信		0	89	129	13	
	心理学科	夜・通信		0	22	62	13	
	こども発達学科	夜・通信		0	66	106	13	
家政学部	服飾造形学科	夜・通信	12		46	98	13	
	健康栄養学科	夜・通信			127	179	13	
	家政福祉学科	夜・通信			94	146	13	
看護学部	看護学科	夜・通信	0	67	107	13		
<p>(備考) 2019年度開講科目は、改組等のため2019年度入学生(1年次)、2018年度入学生(2年次)、2017年度入学生(3年次)、2016年度入学生(4年次)の異なるカリキュラムが混在しているため、それぞれで単位数を計算している。ただし、異名科目で科目カテゴリ(全学共通、学部等共通等)が同じであり、同じ曜日時限で開講している場合は1科目として単位を計算(同時開講科目)。なお、看護学科専門科目は2018年度新設学科のため、2年次までの開設科目でカウントしている。 上記の他、学科によりカリキュラムは異なるが、自由選択科目として免許・資格の科目96単位も開講しており「実務経験のある教員等による授業科目」一覧表に掲載している。</p>								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/Jitsumukyoin20190706.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about\\_wayo/yakuinlist2019.pdf](https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/yakuinlist2019.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元 私立大学 学長	2016. 4. 1 ～ 2020. 3. 31	教学（教育）
非常勤	元 生命保険会社 社長	2019. 7. 17 ～ 2023. 7. 16	財務（資産運用）
非常勤	元 建設会社 副社長	2015. 11. 25 ～ 2019. 11. 24	渉外（地域連携）
非常勤	国立大学 名誉教授	2016. 4. 1 ～ 2020. 3. 31	教学（研究）
非常勤	元 放送局 局長	2017. 6. 1 ～ 2020. 3. 31	渉外（広報・募集）
(備考) 2019年7月現在、上記HPからは当該学外者の理事について、氏名とともに「外部有識者」として情報公開しておりますが、機関要件の充足に当たって今般記載の「前職又は現職」内容等の公開が必要の際は2019年8月以降可能です。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人文学部、家政学部、看護学部すべてにおいて以下の通りである。</li> <li>・授業計画(シラバス)の作成過程             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 12月中旬～1月初旬：Web 入稿システムを利用して、執筆者(担当教員)が入稿する</li> <li>② 1月中旬～1月下旬：第三者(学部長、学科長、研究科長等)が確認する</li> <li>③ 1月中旬～2月上旬：担当教員による修正期間(第三者からの指摘事項に対して担当教員が修正することも含め)</li> </ol> </li> <li>・授業計画の作成・公開時期</li> </ul> <p>授業計画の作成は、「シラバス作成のガイドライン」に従って、担当教員がWeb 入稿システムを利用して行う。 公開はWeb シラバスにて例年3月15日前後に行い、大学保管用に印刷物を作成している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php">http://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人文学部、家政学部、看護学部すべてにおいて以下の通りである。</li> <li>・全学生に入学時に配付する「履修ガイド」の履修要項の「2 試験、単位及び学位認定 2. 評価」に評価方法を記載し、全学的な基準を示している。</li> <li>・加えて、開講科目ごとに授業計画(シラバス)に【評価方法】を掲載して、ホームページで公開している。なお、授業計画(シラバス)執筆の際のマニュアルには、「どのような観点によって成績をつけ、単位を付与するのか、具体的に記載」することを教員に求めている。</li> <li>・また、授業計画(シラバス)には科目ごとに【学位授与方針】の項目があり、学科のディプロマ・ポリシーと科目との対応が掲載されている。</li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人文学部、家政学部、看護学部すべてにおいて以下の通りである。</li> <li>・成績評価、GPA の指標を設定し、全学生に配付の履修ガイド、ホームページに掲載している。</li> <li>・GPA は前期、後期の成績通知時に、成績評価に従って算出し、成績評価と共に学生に通知している。なお通知の方法はインターネット（学生ごとにログインする大学のポータルシステム使用）による。保護者宛にも年に2回郵送している。</li> <li>・IR室にて、学科別にGPA分布状況を把握し適切な成績評価に活用している。</li> <li>・&lt;GPAの算出方法&gt;</li> </ul> <p>GPAは、学生が履修した科目の成績の平均を数値で表したもので、年度ごとのGPAと入学時からの通算の通算GPAの2つのGPAが算出される。本学におけるGPAの算出式は下記に示すとおりである。</p> $GPA = ((S \text{の単位数} \times 4) + (A \text{の単位数} \times 3) + (B \text{の単位数} \times 2) + C \text{の単位数} \times 1) / (\text{履修登録単位数} - \text{履修取り消し単位数})$ <p>※小数点以下第2位で切り捨て</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="http://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php">http://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部・学科ごとにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページにて公表すると共に、全学生に配付する履修ガイドに掲載し、周知を図っている。</li> <li>・大学情報公表として、卒業要件をホームページにて公表している。</li> <li>・大学学則第5節第38条「第12条に定める修業年限に在学し、別表ウに定める所定の単位を取得した者につき、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学位を授与する。」に定める通り、卒業見込みの学生は、卒業要件の充足状況や学費の納入状況などを記載した判定資料を参考に、3月に行われる学部教授会（判定教授会）の議を経て卒業が認定される。</li> </ul>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ディプロマ・ポリシー：</p> <p><a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1091/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1091/Default.aspx</a></p> <p>卒業要件：</p> <p><a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/Default.aspx</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/taisyakutaisyou2018nendo.pdf">https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/taisyakutaisyou2018nendo.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	①資金収支計算書 <a href="https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/sikinsyuusikeisansyo2018nendo.pdf">https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/sikinsyuusikeisansyo2018nendo.pdf</a> ②活動区分資金収支計算書 <a href="https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/katudoukubunsikinsyuusikeisansyo2018nendo.pdf">https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/katudoukubunsikinsyuusikeisansyo2018nendo.pdf</a> ③事業活動収支計算書 <a href="https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/jigyokatudousyuu2018nendo.pdf">https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/jigyokatudousyuu2018nendo.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/zaisanmokuroku2018nendo.pdf">https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/zaisanmokuroku2018nendo.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/H30administrationreport0531.pdf">https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/H30administrationreport0531.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/kansahoukoku2018nendo.pdf">https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/pdf/kansahoukoku2018nendo.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:和洋学園事業計画書 対象年度:2019年度)
公表方法: <a href="https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/2019administrationplan.pdf">https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/2019administrationplan.pdf</a>
中長期計画(名称:学校法人和洋学園中期計画 対象年度:2016~2020年度)
公表方法: <a href="https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/mediumtermplan20162022.pdf">https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/mediumtermplan20162022.pdf</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/Default.aspx</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/accreditation/tabid/256/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/accreditation/tabid/256/Default.aspx</a>
---

### (3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

#### ①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人文学部
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/aim/tabid/205/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/aim/tabid/205/Default.aspx</a> ）
（概要）人文学部は、人文科学・社会科学の分野において、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授し、知的・道徳的及び応用能力を展開させ、もって文化の発展と福祉の増進に寄与する有能な女性を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1091/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1091/Default.aspx</a> ）
（概要）人文学部は、国際学科、日本文学文化学科、心理学科、およびこども発達学科から構成され、グローバル化が進展する社会において必要とされる深く広い教養と高度な実践的な専門知識や技能をもった自立した女性を育成することを目的としており、卒業に必要な単位数の修得などの要件を満たす者に学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1092/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1092/Default.aspx</a> ）
（概要）人文学部は、国際学科、日本文学文化学科、心理学科、こども発達学科から構成されており、学科を越えて行われる教養教育との相互補完性を見据えた専門教育を実施します。各学科のカリキュラム編成は、大学 4 年間を通してそれぞれの学科で学ぶための導入科目と基礎科目の学習の後に、専門科目と少人数による演習科目やゼミを配置して、主体的な学びを体得することを目的とします。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/uni_adpolicy/tabid/777/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/uni_adpolicy/tabid/777/Default.aspx</a> ）
（概要）人文学部は、グローバル化や少子高齢化、人工知能などの技術革新の進展等、変化の激しい社会に対応できる、広く深い教養と高度で実践的な専門知識や技能を持った自立した女性の育成を目的としています。 そのため、多様な価値観を持つ人間同士ならびに社会間の対話を尊重しながら、人間社会の諸現象を体系的に理解し、新たな価値を創造することのできる学生を求めています。

学部等名 家政学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：  <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/aim/tabid/205/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/aim/tabid/205/Default.aspx</a>）</p> <p>（概要）家政学部は、家政学の分野において、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術技芸を教授し、知的・道徳的及び応用能力を展開させ、もって文化の発展と福祉の増進に寄与する有能な女性を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：  <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1091/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1091/Default.aspx</a>）</p> <p>（概要）家政学部は、高齢社会、男女共同参画社会、そして持続可能社会の中にあつて、生活に対する問題意識と感性を磨き、人々の生活の質（QOL）を向上させ、人々がより幸せに生きられるライフスタイルの実現のために科学的、実践的に行動できる女性としての能力を身に付けます。学生は所定の期間在籍し、所定の単位を修得して、卒業論文または卒業制作を提出し合格することで課程を修了し、学位が授与されます。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：  <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1092/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1092/Default.aspx</a>）</p> <p>（概要）家政学部は服飾造形学科、健康栄養学科、家政福祉学科から構成されており、各学科のカリキュラム編成では、講義科目の他に多くの実習・実験・演習科目を配置して専門的知識と技術の実践的な学びにより、様々な人たちの幸福で豊かな生活を支援できる力を育てます。さらに、3 学科共通で学ぶ家政学部共通の専門科目として衣食住の生活文化史、地域生活を豊かにする科目、家庭科教員資格にかかわる科目などを置き、生活の総合的・科学的・実践的な課題解決能力の育成をめざします。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：  <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/uni_adpolicy/tabid/777/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/uni_adpolicy/tabid/777/Default.aspx</a>）</p> <p>（概要）家政学部は、高齢社会、男女共同参画社会、そして持続可能社会の中にあつて、生活に対する問題意識と感性を磨き、人々の生活の質（QOL: quality of life）を向上させ、人々がより幸せに生きられるライフスタイルの実現のために科学的、実践的に行動できる女性としての能力を身に付ける。  そのため、家政学部での学びに対して、自らの生活を自省し、より望ましい生活の実践にむけて行動できること、さらに、人々がより幸せな生活が実現できるように、表現者・指導者・支援者等として社会で活躍できるような学生を求めている。</p>



学部等名 看護学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：  <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/aim/tabid/205/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/aim/tabid/205/Default.aspx</a>）</p> <p>（概要）看護学部は、看護学の分野において、広く知識を受けるとともに、深く専門の学術技術を教授し、知的・道徳的及び応用能力を展開させ、もって保健・医療や福祉環境及び地域医療の発展と福祉に寄与する有能な看護師を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：  <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1091/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1091/Default.aspx</a>）</p> <p>（概要）多様化する人々の健康生活のニーズに対応できる看護実践者を育成します。ヒューマンケアリングの考え方をベースに看護の専門知識と高度のコミュニケーション能力を養い、高い職業倫理観をもって地域に貢献する人材を育成します。  以下の6つの力を修得した者に学位を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：  <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1092/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1092/Default.aspx</a>）</p> <p>（概要）看護学科では、ディプロマ・ポリシーに従い、高度な能力もつ看護職を育成するために次のカリキュラムを履修することで卒業時まで専門知識の修得を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●豊かな人間性と倫理観を育成するため、人文科学、社会科学、生活科学、人間科学系、外国語の幅広い分野から選択できる「共通総合科目」を配置する。</li> <li>●看護実践に必要な知識・技術を学ぶための「専門教育科目」は、「専門基礎科目」と「専門科目」で構成される。「専門基礎科目」は看護学の基礎となるホスピタリティ、健康と健康障害、社会保障、関係法規などを配置する。</li> <li>●「専門科目」は、看護学のベースになる「基礎看護学」と人間の発達・健康段階の看護について学ぶ「発達分野看護学」、地域社会・在宅をはじめ多様な場での看護を学ぶ「広域看護学」そして、看護の発展的展開と研究的態度を学ぶ「統合分野看護学」を配置する。</li> <li>●教科目の年次進行は、基礎から専門へ、人間の成長・発達段階、環境と健康、疾病予防から終末期に至る看護を段階的に学ぶよう配置する。このため「実習科目」は各前提科目の修得が必要となる。</li> </ul>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：  <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/uni_adpolicy/tabid/777/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/uni_adpolicy/tabid/777/Default.aspx</a>）</p> <p>（概要）看護学部では、多様化する人々の健康生活のニーズに対応できる看護実践者を育成する。ヒューマンケアリングの考え方をベースに看護の専門知識と高度のコミュニケーション能力を養い、高い職業倫理観を持って地域に貢献する人材を育成する。そのため、将来、看護の実践家として社会に貢献したいという強い思いを持ち、国家試験の受験資格の修得と合格に向けて、看護学を学ぶ上で必要な基礎学力と意欲を有する学生、自分の意見を表現でき、他者と積極的にコミュニケーションがとれる学生、人との関わりを大切にし、主体的に物事を考え、気遣いができる学生、自らの健康管理と健康状態を含んだ生活管理ができる学生を求める。</p>

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/Default.aspx>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
看護学部	—	12人	9人	6人	6人	8人	41人
家政学部	—	16人	17人	0人	5人	22人	60人
人文学部	—	30人	11人	2人	13人	4人	60人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		162人					162人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://www.wayo.ac.jp/academics/teacher/tabid/391/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/academics/teacher/tabid/391/Default.aspx</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
年間を通して、大学全体・学部・学科のFDを実施している。 <a href="https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/2018（H30）FD研修内容一覧.pdf">https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/2018（H30）FD研修内容一覧.pdf</a>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文学部	360人	418人	116.1%	1514人	1494人	98.7%	22人	1人
家政学部	290人	307人	105.9%	1160人	1133人	97.7%	15人	2人
看護学部	100人	120人	120%	200人	230人	115%	0人	0人
合計	750人	845人	112.7%	2874人	2857人	99.4%	37人	3人
(備考) 人文学部および家政学部の3年次編入学生は2020年度より募集停止								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文学群	295人 (100%)	1人 (0.3%)	268人 (90.8%)	26人 (8.8%)
家政学群	288人 (100%)	0人 (%)	274人 (95.1%)	14人 (4.9%)
合計	583人 (100%)	1人 (0.2%)	542人 (93.0%)	40人 (6.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) 2018年度より人文学群は人文学部、家政学群を家政学部へ名称変更。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
人文学群	316人 (100%)	283人 (89.6%)	12人 (3.8%)	21人 (6.6%)	0人 (0.0%)
家政学群	302人 (100%)	277人 (91.7%)	10人 (3.3%)	12人 (4.0%)	3人 (1.0%)
合計	618人 (100%)	560人 (90.6%)	22人 (3.6%)	33人 (5.3%)	3人 (0.5%)
(備考) ・入学者数：2015年度入学生 ・修業年限期間内には2019年9月卒予定の学生は含まない ・その他：除籍及び転籍で学群が変わった学生					

### ⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) ・人文学部、家政学部、看護学部すべてにおいて以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画（シラバス）の作成過程               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 12月中旬～1月初旬：Web入稿システムを利用して、執筆者（担当教員）が入稿する</li> <li>② 1月中旬～1月下旬：第三者（学部長、学科長、研究科長等）が確認する</li> <li>③ 1月中旬～2月上旬：担当教員による修正期間（第三者からの指摘事項に対して担当教員が修正することも含め）</li> </ol> </li> <li>・授業計画の作成・公開時期</li> </ul> <p>授業計画の作成は、「シラバス作成のガイドライン」に従って、担当教員がWeb入稿システムを利用して行う。</p> <p>公開はWebシラバスにて例年3月15日前後に行い、大学保管用に印刷物を作成している。</p>
--

### ⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人文学部、家政学部、看護学部すべてにおいて以下の通りである。</li> <li>・全学生に入学時に配付する「履修ガイド」の履修要項の「2 試験、単位及び学位認定 2. 評価」に評価方法を記載し、全学的な基準を示している。</li> <li>・加えて、開講科目ごとに授業計画（シラバス）に【評価方法】を掲載して、ホームページで公開している。なお、授業計画（シラバス）執筆の際のマニュアルには、「どのような観点によって成績をつけ、単位を付与するのか、具体的に記載」することを教員に求めている。</li> <li>・また、授業計画（シラバス）には科目ごとに【学位授与方針】の項目があり、学科のディプロマ・ポリシーと科目との対応が掲載されている。</li> <li>・卒業の認定に当たっては、学部・学科ごとにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページにて公表すると共に、全学生に配付する履修ガイドに掲載し、周知を図っている。</li> <li>・大学情報公表として、卒業要件をホームページにて公表している。</li> <li>・大学学則第5節第38条 「第12条に定める修業年限に在学し、別表ウに定める所定の単位を取得した者につき、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学位を授与する。」に定める通り、卒業見込みの学生は、卒業要件の充足状況や学費の納入状況などを記載した判定資料を参考に、3月に行われる学部教授会（判定教授会）の議を経て卒業が認定される。</li> </ul>
--

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文学部	国際学科	124 単位	有	46 単位
	日本文学文化学 科	124 単位	有	46 単位
	心理学科	124 単位	有	46 単位
	こども発達学科	124 単位	有	46 単位
家政学部	服飾造形学科	124 単位	有	46 単位
	健康栄養学科	124 単位	有	(1・2年) 48 単位 (3・4年) 44 単位
	家政福祉学科	124 単位	有	46 単位
看護学部	看護学科	128 単位	有	48 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 : <a href="http://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php">http://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 : <a href="https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/Default.aspx</a>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : [https://www.wayo.ac.jp/facilities\\_campus/tabid/66/Default.aspx](https://www.wayo.ac.jp/facilities_campus/tabid/66/Default.aspx)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
人文学部	国際学科	660,000円	250,000円	327,300円	その他は施設設備費、実験実習料等
	日本文学 文化学科	660,000円	250,000円	327,300円	その他は施設設備費、実験実習料等
	心理学科	660,000円	250,000円	327,300円	その他は施設設備費、実験実習料等
	こども発 達学科	750,000円	250,000円	337,300円	その他は施設設備費、実験実習料等
家政学部	服飾造形 学科	700,000円	250,000円	337,300円	その他は施設設備費、実験実習料等
	健康栄養 学科	780,000円	250,000円	427,300円	その他は施設設備費、実験実習料等
	家政福祉 学科	700,000円	250,000円	327,300円	その他は施設設備費、実験実習料等
看護学部	看護学科	1,050,000円	250,000円	557,300円	その他は施設設備費、実験実習料等

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ユニバーサルサポート推進室(教職員・精神保健福祉士)による障害のある学生等個別の支援を必要とする学生の大学生活や修学に関するサポートと指導、及び合理的配慮方針の決定と実施を行っている。学生課による各種奨学金(学内奨学金、授業料減免制度、特待生制度を含む)の取り扱いを通して学生が修学を継続できるよう経済的な支援を実施。また二つの学生寮を完備している。学生の基礎学力の向上と実践的な教養の習得をサポートする学習室(ラーニングステーション)を開設。年間を通して、少人数制の学習講座「わよらカフェ」を開催する他、基礎学力を身に付けるための学習教材の配付や貸出を行い、自主的に学ぶ学生たちの拠点となっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 1~2年次 生き方、働き方を考える授業(単位)「キャリアデザイン」を実施。 3~4年次 進路支援センターにて、担当のキャリアカウンセラーが学生全員に各学生の志望や適性を把握し、各業界の有益な情報提供、企業とのマッチング、企業説明会、インターシップ、各種資格の対策講座、特別講座、就職関連セミナーなどを数多く実施。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健センターによる健康診断有所見者の事後措置及び保健指導、学外実習参加者の検査対応、保健だよりの発行等の啓蒙活動、疾患や障害のある学生の健康管理、肥満学生への継続支援、学校行事や各種イベント時の救護などを実施。学生相談室(臨床心理士2名)によるメンタル面を中心とした面談を週に4日間実施。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： <a href="https://www.wayo.ac.jp/campus_life/support/life/tabid/531/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/campus_life/support/life/tabid/531/Default.aspx</a> <a href="https://www.wayo.ac.jp/campus_life/support/health/tabid/533/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/campus_life/support/health/tabid/533/Default.aspx</a> <a href="https://www.wayo.ac.jp/campus_life/dormitory/tabid/538/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/campus_life/dormitory/tabid/538/Default.aspx</a> <a href="https://www.wayo.ac.jp/campus_life/scholarship/tabid/537/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/campus_life/scholarship/tabid/537/Default.aspx</a> <a href="https://www.wayo.ac.jp/academics/edu_system/support/tabid/970/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/academics/edu_system/support/tabid/970/Default.aspx</a> <a href="https://www.wayo.ac.jp/campus_life/support/learning/tabid/530/Default.aspx">https://www.wayo.ac.jp/campus_life/support/learning/tabid/530/Default.aspx</a>
---